

## 事業完了（廃止等）報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	令和元年8月23日 ～ 令和2年3月13日
調査研究事項	<p>&lt;委託研究Ⅲ&gt;</p> <p>ア. 教育課程・指導上の工夫に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母語を日本語としない生徒への日本語指導を踏まえた教科指導法と授業の展開方法全般について</li> </ul> <p>イ. 教職員の配置・研修に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間学級専門スタッフを活用した教育活動の在り方について</li> </ul>
調査研究のねらい	<p>多国籍生徒が在籍し、日本語の習熟度や既習状況が異なる中で教科指導の在り方は、依然として大きな課題である。夜間学級の教育活動をさらに充実させ、多様な生徒の受け入れの拡大が図れるよう生徒一人一人の個に応じた効果的な指導方法（学力向上、ICT機器の有効活用等）の調査研究をねらいとする。</p> <p>あわせて、生徒の実態に合わせた指導をサポートする夜間学級専門スタッフを活用した教育活動及び効果的な活用について、昨年度に引き続き研究する。</p>
調査研究の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの実態や既習状況に応じた、効果的な指導方法や教材づくりを行った。</li> <li>・主体的・対話的な学びの実現に向けて、タブレット端末等ICT機器を活用することで、一定の効果が認められた。活用の時期や学習内容等の検討は学年の初めに行う必要がある。</li> <li>・国語科以外の各教科指導において、学習内容とともに効果的な日本語習得となるような工夫を行った。</li> <li>・授業や学校生活に対して満足している様子から、生徒のニーズに合った授業展開ができていると考えられる。また、学ぶことの楽しさや目的に向けて授業を工夫することで、学習意欲がさらに増した。</li> <li>・本務教員5名、講師7名の教員で、生徒の実態に合った特別の教育課程を実施している。個々の生徒に細かく対応できるようにTT体制を組み、習熟度に応じたグループ編成の授業を行っている。日本に来て間もない生徒も多く、様々な問題や悩みを抱えるケースもあり、日本語の支援だけでなく、各国の生活習慣等を理解した上での学習や生活に対する指導や支援を行うことができた。そのため、夜間学級専門スタッフの配置はとても効果的であった。</li> </ul>